昭和59年
6月1日
第221号
発行　津奈木町役場
編集　企画課
印刷　水俣旭印刷所

町報 つなぎ

人口と世帯
（5月1日現在）
人口　6,217　（－8）
男　2,975　（－2）
女　3,242　（－6）
世帯　1,715　（＋5）
（　）内は前月との比較

町民スポーツの幕あけ

町民体育祭

ソフトボール
バレーボール　優勝　浜崎
倉谷

35才以上ソフトボール大会
（総合グランド）

まる、五月二十日（日）、総合グラウンドとB&G体育館において、本年最初を飾る第十八回町民体育祭男子ソフトボール大会並びに女子バレーボール大会が開催された。

当日は、絶好のスポーツ日和に恵まれ、各会場には、地区の代表選手が勢ぞろいして、両種目とも午前八時半から開始された。観戦は午前九時から開始され応援に駆けつけた子供達からかん声援をうけながら父親と母親も大奮闘、終始熱戦が展開された。

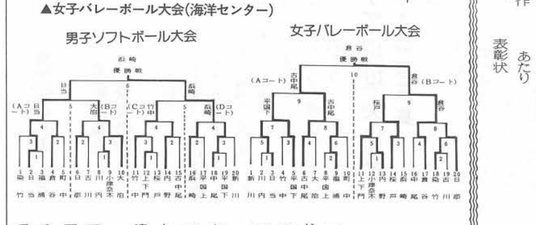
なお、ソフトボールは、浜崎チームが堂々の優勝を飾り、バレーボールでは、倉谷チームが安定した力を発揮して三連勝を果たした。

結果は次のとおり。

○男子ソフト　○女子バレー
優勝　浜崎　倉谷
二位　日当　古中尾
三位　竹中　桜戸
三位　大泊　平国下

▲女子バレーボール大会（海洋センター）

男子ソフトボール大会



女子バレーボール大会

ハウス農業は活きる

今年のメロン　アスパラ　一段と好調

去る5月30日開催の昭和59年度津奈木町商工会通常総会で故浜本博祐氏の後任に平国の野崎一孝氏(50)を新会長に選出

ホームランメロン

一昨年よりも四割も高かったハウスメロン、今年は更に上回る出足好調な市場価格をみている。

東京・名古屋向けで初出荷がケース（五キロ入）平均二千八百円現在で千六百円である。出荷は五月二日から六月二十日頃まで続く。味、玉伸びともによく、糖度約十六度、L玉（一・五キロ位い）が五十パーセント以上を占める。市場でひっぱりだこの一番人気は今年も相変わらずの様子。

今年の栽培概況は栽培戸数十一戸、面積二・二ヘクタールである。また農協では総生産量（推定）五十トン、総生産額千五百万円を見込んでいる。

グリーンアスパラ

昨年から収穫できるようになった水年生のグリーンアスパラ、今年はハウス育ちが主力を占め、収穫時期も、二月二十七日から五月二十日まで続いた。収量は昨年の十アール当り最高収量八箱（二百グラム入）から三千箱へ大巾にふえた。単価も昨年より約十パーセント高の平均二五〇円で終了したもようです。栽培面積は一・二ha。

****
町では、今年度から新しく施設農業と特産化をめざすため、ビニールハウスとグリーンアスパラの新植に対し補助金をだすよう計画しております。詳しいことは町報五月号が役場農林水産課へお訪下さい。
****

緑化功労
内閣総理大臣表彰
古中尾の山崎直次郎さん（88歳）

樹木の寄贈、緑化協力により表彰状
昭和四十四年十二月　一日
熊本県知事　寺本廣作
熊本県新庁舎建設にあたり、表彰状
昭和四十七年十一月二十二日
熊本県知事　沢田一精
美しい熊本づくり推進会議　会長　沢田一精
多年の美しく住みよい郷土づくりに卒先推進し、住民運動への発展に寄与
緑のリボン賞
昭和四十八年　六月十六日
熊本日日新聞社　社長　島田四郎
表彰状
昭和五十一年十一月　五日
財団法人日本顕彰会　会長　笹川良一
希望者に無料配布及び国道沿線美化、無償植込の厚意により
表彰状
昭和五十六年　六月　八日
国務大臣環境庁長官鯨岡兵輔
第九回環境週間及び環境庁十周年にあたり、地域環境美化につとめた功績
感謝状
昭和五十七年　三月　四日
水俣営林署長　鈴木行雄
昭和四十七年十月二十二日
熊本県知事　沢田一精
美しい熊本づくり推進会議　会長　沢田一精
多年の美しく住みよい郷土づくりに卒先推進し、住民運動への発展に寄与
緑のリボン賞
昭和四十八年　六月十六日
熊本日日新聞社　社長　島田四郎
表彰状
昭和五十一年十一月　五日
財団法人日本顕彰会　会長　笹川良一
希望者に無料配布及び国道沿線美化、無償植込の厚意により
表彰状
昭和五十六年　六月　八日
国務大臣環境庁長官鯨岡兵輔
第九回環境週間及び環境庁十周年にあたり、地域環境美化につとめた功績
感謝状
昭和五十七年　三月　四日
水俣営林署長　鈴木行雄

自衛隊父兄会支部総会
援護協力会結成

さる、五月二十日、午前九時十五分より、改善センターにおいて映写会に引続き、自衛隊父兄会支部総会を開き、就職援護業務等を行う援護協力会を結成した。

自衛隊父兄など関係者約八十名が出席した総会では六車支部長の挨拶、来賓の豊崎水俣芦北地区連絡協議会会長、荘野第八特科連隊第五大隊長等が祝辞を述べた。

多年の国有林野、官行造林地の保護管理と緑化推進に協力した実績
感謝状
熊本県八代市長、高森町長、矢部町長、本渡市長等より、国道三号線美化奉贈等の功以上は現在まで山崎さんが受けられた主たったもの。この他の市町村等からの感謝状、表彰状を含めると緑化関係だけで約五十回も受けられている。

また、五月二十日、自衛隊父兄会支部総会の後、自衛隊員の募集、援護業務等について、講演会が開かれた。

講師は、熊本地区自衛隊募集援護部長、一等陸佐　小林　勇氏。

講演は、「自衛隊の現状と将来」について、「自衛隊の任務」について、「自衛隊の募集」について、「援護業務」について、「予備自衛官制度」について、「自衛隊父兄会の活動」について、「自衛隊父兄会支部の活動」について、「自衛隊父兄会支部の活動」について、「自衛隊父兄会支部